

Title	折口信夫教授講義題目(慶應義塾大學國文學科) : 大正十二年-昭和二十八年
Sub Title	List of the lecture delivered by the late Prof. Shinobu, Orikuchi
Author	池田, 彌三郎(Ikeda, Yasaburo)
Publisher	慶應義塾大学文学部藝文学会
Publication year	1955
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.4, (1955. 2) ,p.121- 126
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00040001-0121">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00040001-0121</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

折口信夫教授

講義題目(慶應義塾大學國文學科)

大正十二年——昭和二十八年

◇大正十二年——昭和二年は、國文學演習。

◇昭和三年——昭和二十五年は、國文學(四)を擔當し、内二つを演習、二つを、文學史、藝能史、或は、國文學概論、國語學などにあてた。

◇昭和九年——十六年、二十一年——二十八年は、池田のノートにより、ほぼ確認し得たが、八年以前、殊に三年以前、及び戦時中は、充分でない。後の訂正を俟ちたい。

池田彌三郎

萬葉集 卷二

昭和二年

?

昭和三年

文學史1 文献以前。

藝能史1 發端、神樂、田樂。

源氏物語 帚木。

文法論 難語難解句について。

源氏全講會 常夏・篝火・野分。橘姫・椎本。及び伊勢物語。

昭和四年

文學史2 文献時代、風土記、古事記。

藝能史2 曲舞、幸若舞、念佛踊。

源氏物語 空蟬・夕顔。

文法論

源氏全講會 行幸・藤袴・眞木柱。總角。

昭和五年

文學史3 古事記、日本紀。

藝能史3 歌舞妓、相撲、人形。

祝詞

大正十二年

祝詞

大正十三年

萬葉集 卷十四

大正十四年

萬葉集 卷十六(不確實)

大正十五年・昭和元年

源氏物語 若紫・未摘花。

源氏全講會 眞木柱・梅枝・藤裏葉。

昭和六年

文學史4 萬葉集。

藝能史4 能の發生、獅子舞。

播磨風土記

宇津保物語

研究會 本朝櫻陰比事、安居院神道集。

源氏全講會 藤裏葉・若菜上。

昭和七年

文學史5 女房文學、古今後撰拾遺。

國文學概論。藝能史 まれ人。

萬葉集 卷一（一一六二）

妹背山婦女庭訓

研究會 太平記。

源氏全講會 休講。

昭和八年

文學史6 金葉集前後、女流歌人。

藝能史 語義。座、口説、群衆舞踊。

萬葉集 卷二

伊勢物語

研究會 蜻蛉日記。

源氏全講會 若菜上・下。

昭和九年

文學史7 歌物語、民謡。

藝能史 相撲、棒、神樂。

萬葉集 卷十四（三三四八―三三四二九）

好色一代女

研究會 記紀歌謡集、梁塵秘抄。

源氏全講會 若菜下・柏木。

昭和十年

文學史 國文學史通論。

國文學概論

祝詞、萬葉集 卷八。

古今集、枕草子。

研究會 謡曲。

源氏全講會 横笛・鈴蟲・夕霧。

昭和十一年

文學史 新古今前後。

藝能史 饗宴と賓客と。

萬葉集 卷十七。

源氏物語 桐壺——若紫。

研究会 義經記、清悅物語。

源氏全講會 休講。

昭和十二年

文學史1 古代及び室町時代。

藝能史 藝能史概論。

萬葉集 卷三。

好色一代男。

研究会 近世淨瑠璃。

源氏全講會 御法・幻・匂。

昭和十三年

文學史2 古代及び室町時代。

國文學概論。

萬葉集 卷十六。

伊勢物語1 一—四三段。

研究会 讀本、琉球神道記、國語問題。

源氏全講會 紅梅・竹河。

昭和十四年

文學史 演劇史。

藝能史 神樂、催馬樂。

萬葉集 卷五。

伊勢物語2 四四—一二五段。

研究会 古今集(序・卷二十及び雜、冬)

源氏全講會 橋姫。

昭和十五年

文學史 歌及び謔、部曲文學。

藝能史 演劇及び概論。

祝詞、宣命。

萬葉集 卷十五、卷二。

研究会 古今集戀、俳諧冬の日。

研究会 民俗學講義(此年は研究会二つ)。

源氏全講會 椎本・總角。

昭和十六年

文學史 近世・歷代作家論。

國語史。

播磨風土記。

心中重井筒その他。

研究会 玉葉・風雅集。

源氏全講會 總角。

昭和十七年

文學史 女房文學、小説文學の要素、文學と民俗。

藝能史 田遊と田樂と、舞踊。

古事記「八千矛の神」の研究、神武記。

伊勢物語 第一段より。

研究会

(註) 此年の研究会で中心とした講義はわからない。演習の「伊勢物語」

と言ふのも、報告者が「？」をつけてゐる。別の報告によると、伊

勢は十七年十月十三日から十八年七月二十日まで、初段より五十段

までとある。

昭和十八年

文學史 日本文學の要素(貴族流離譚等)。

藝能史 西浦の田樂等。

萬葉集 卷十四。

源氏物語 若菜上。

研究会 短歌の添削指導。

昭和十九年

國文學概論 文學の普遍性、恒久性、木質、發生、敘事詩抒情

詩の發生、批評と鑑賞。

藝能史 童舞男舞翁舞、鬼、相撲。

萬葉集 卷一(一一一二)

伊勢物語 一段—一四段。

研究会 俳諧「市中」の卷。

昭和二十年

文學史 古代・文學の發生より物語、謠物、及び女房文學、逸

話文學まで。

藝能史 年齢性別による藝能。

新古今 戀、釋教、春の選釋。

俳諧 式目、座の話及び「梅が香に」「洗足に客と名のつく」の

卷。

研究会 民俗學の話。

昭和二十一年

文學史 古代・文學の發生より記録時代まで。連俳論・石山百

韻、江戸三吟。

國語史 方言論。

西鶴 一代女。及び、萬葉卷五選釋。

新古今 四季、戀、哀傷、賀、雜の選釋。

研究會 民俗學、日本演劇論。

昭和二十二年

文學史 近代・逍遙、紅葉、露伴、鏡花、鷗外、自然主義、寫

生文、短歌、俳句、詩。

藝能史 翁、松拍、藝能村及び旅行者の藝能。

萬葉集 作者別萬葉講義・大作家持。

近松 「傾城反魂香」。

研究會 日本文學概論、俳諧猿蓑、地唄選釋。

講演 歌舞伎研究會「手習鑑雜談」。

同 「玉手御前の戀」。

同 「忠臣藏の話」。

三田地人會「方言と民俗學」。

日吉全學講座「光源氏の一代」。

水上瀧太郎追悼講演會「父」。

昭和二十三年

文學史 俳諧文學、連歌、及び室町文學。

藝能史 鎮魂舞踊及び相撲。

萬葉集 卷十一（二三五一—二四一七、及び以下選釋。）

歌謠文學史演習その一「神樂」「催馬樂」。

源氏全講會 玉鬘・初音・胡蝶・螢。

（註）源氏全講會は昭和十七年以來休會してゐたが、此年再會された。

研究會 西鶴「諸國咄」「五人女」、近松「女殺油地獄」。

特殊講義 古代の氏族文學、道德の發生、連歌講義。

講演 慶應外語學校文化講座「日本の演劇」。

慶應通信教育部記念會「古典研究の意義」。

昭和二十四年

文學史 古代・部曲の傳誦文學。

藝能史 傳誦者及び風流。

萬葉集 卷七（一〇六八—一一三三、及び以下選釋）。

歌謠文學史演習その二「梁塵秘抄」「閑吟集」「室町時代小唄集」「狂言小歌集」。

源氏全講會 常夏・篝火・野分。

研究會・民俗學の話。

昭和二十五年

文學史 國々の物語・伊勢大和竹取及び土佐日記。

藝能史 祝福藝及び偶人劇。

萬葉集 卷十三(三三二一—三三二七九)。

歌謠文學史演習その三 「松の葉」「新大成系のしらべ」。

源氏全講會 行幸・藤袴。

研究會 「寺小屋」の歌舞妓臺本。

昭和二十六年

國文學研究古代 國文學史・部曲文學及びその系統の文學。

國文學研究近世 洒落本講義・「月花餘情」「遊子方言」「深川

新話」「錦の裏」。

國文學演習 卒業論文指導。

源氏全講會 眞木柱・梅枝・藤裏葉・若菜上。

研究會 宣命・元明天皇即位宣命。

講演 三田演說會「青年の舊文化」。

(註) 此年より、學部に於ける講義は、演習だけになり、大學院の講義が開かれる豫定であつたが、此年及び次の年と二年間は、大學院學生がなかつた爲、暫定的にかくの如くになつた。

昭和二十七年

國文學研究古代 萬葉集・大伴家持研究。

國文學研究近世 藝能傳承論・民俗との交渉面の研究。

國文學演習 卒業論文指導。

源氏全講會 若菜上。

特殊講義 民俗學四講・衣食住。

(註) 九月二十二日發病。第三學期は講義題目に關係なく、特殊講義を行ふ。

昭和二十八年

國語學特殊 語根論、特殊敬語法、言語純化性能論。

古代國文學特殊 萬葉集概説、卷一講義。

中世國文學特殊 綜合藝能史論。

——以上大學院

國文學演習 卒業論文指導。

——學部四年

(註) 此年、始めて大學院の講義始まり、一學期を以て終る。